

都市再生整備計画 事後評価シート  
竜東地区

平成29年12月

長野県伊那市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	伊那市		地区名	竜東地区		面積	1,135 ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	855.1百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路:市道二条線、市道球場回り線、市道上の原幹線 高次都市施設:伊那地域交流センター								
			提案事業	地域創造支援事業:公民館活用事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-		-		-		-		
			提案事業	-		-		-		-		
	新たに追加した事業		基幹事業	-		-		-		-		
			提案事業	-		-		-		-		
	交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		-			
	変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地域交流センターの利用者数	人	52,578	平成22年度	62,000	平成28年度	-	46,582	×	あり なし ●	-
	指標2									あり なし		
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	プレイルームの新設 ⇒子育て教室、読み聞かせ、キッズピクス等、親子のふれあいの場 ベレットストーフ、太陽光発電パネルを設置 ⇒自然エネルギーの活用によるCo2削減											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
	住民参加プロセス	地域交流センターの基本設計、運営方法検討にあたっての住民参画(伊那公民館建設推進委員会の開催)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 引き続き、施設運営に係る様々な場面で住民参加による協働のまちづくりを推進する。	
	持続的なまちづくり体制の構築	伊那地域協議会の運営					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域の個性を大切に、地域の課題を自ら解決出来るような仕組みづくりを進める。	

## 様式2-2 地区の概要

### 竜東地区(長野県伊那市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
地域住民の交流や活動の促進による「市民が主役」のまちづくりの推進	地域交流センター利用者数	単位:人/年	52,578	H22	62,000	H28	46,582	H28
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



伊那地域交流センター(伊那公民館)



公民館活用事業



講堂(伊那地域交流センター内)

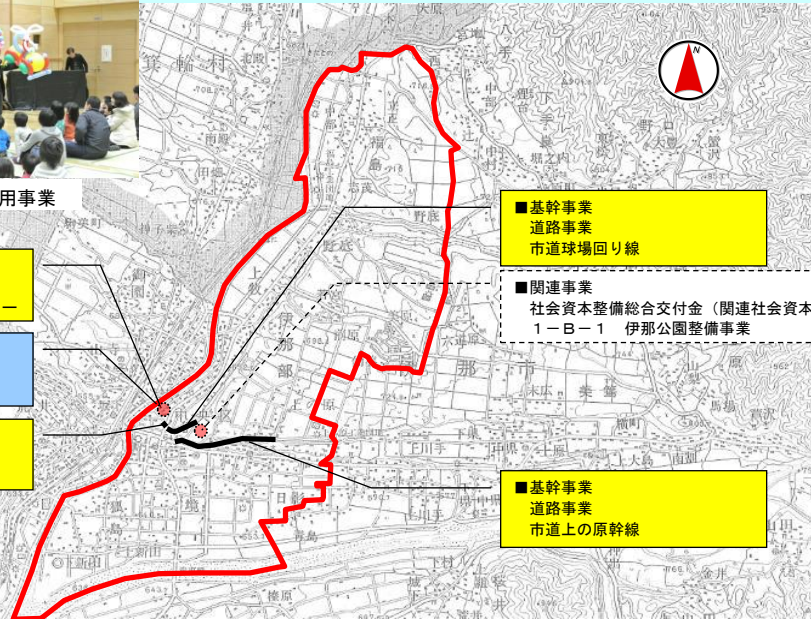
■基幹事業  
高次都市施設  
(仮称)伊那地域交流センター

■提案事業  
地域創造支援事業  
公民館活用事業

■基幹事業  
道路事業  
市道二条線

凡 例  

 ■基幹事業  
 ■提案事業  
 - - - 関連事業



■基幹事業  
道路事業  
市道球場回り線

■関連事業  
社会資本整備総合交付金(関連社会資本整備事業)  
1-B-1 伊那公園整備事業

■基幹事業  
道路事業  
市道上の原幹線



市道二条線



市道球場回り線



伊那公園整備



市道上の原幹線

まちの課題の変化

- ・防災拠点の機能を有し、地域住民の交流及び地域活動の拠点となる新たな地域交流センター(伊那公民館)が完成した。
- ・駐車場不足が利用率低下の一因となっていたが、86台分の専用駐車場を確保したことにより、施設の利便性が向上した。
- ・地域交流センター周辺道路(市道二条線、市道球場回り線、市道上の原幹線)を整備することで、高齢者から子どもまでが安全で快適に過ごせる生活環境が整った。
- ・地域住民の交流や活動を促進するための新たな公民館講座が創設され、活動の活性化につながっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・新たに整備された地域交流センターを活用し、住民のつながりをより一層深めるとともに、市民が主体的に行う活動を支援しながら「市民が主役のまちづくり」を進める。